

令和6年3月11日
教育指導課

いじめ防止研修リーフレットの改定について

1 現行の研修資料について

○現在の研修資料に掲載している事例

番号	内容
事例1	小学2年の児童間トラブルに関する
事例2	中学生徒の問題行動および家庭環境に係る事例
事例3	小学5年の児童のいじめの訴えに係る事例
事例4	小学3年の児童間トラブルに関する事例
事例5	生徒会有志が中心になって行う取組事例
事例6	保護者からの過剰な要求による事例



「いじめ防止等の対策を推進する6つのポイント」

- 教職員の鋭敏な感覚によるいじめの認知
- 「学校いじめ対策委員会」を核とした組織的対応
- 学校教育相談体制の充実
- いじめの解決に向けて、主体的に行動しようとする態度の育成
- 保護者との信頼関係に基づく対応
- 地域、関係機関等との連携

上記事例の対応の在り方や「いじめ防止等の対策を推進する6つのポイント」のどれに該当するかを協議・検討する資料としている。

2 掲載する事例について

本区のいじめの態様について（問題行動等調査による「いじめの態様」より）

（複数回答可）

〔単位：件〕

校種	小学校			中学校		
	年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2年度	R3年度
項目						
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる。	226	675	1,073	141	196	189
仲間はずれ、集団による無視をされる。	51	79	86	21	23	31
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	58	209	179	20	12	27
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	3	21	36	4	4	5
金品をたかられる。	2	4	5	3	2	2
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	7	15	15	6	6	10
いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	11	25	26	8	9	10

パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	5	5	14	18	19	25
その他	3	16	13	4	5	8
計	366	1,049	1,447	225	276	307

いじめの態様（認知件数を母数とする）

○小中学校ともに、「冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が最も多く、小学校で85.4%、中学校で77.8%であった。

○小中学校ともに、「仲間はずれ、集団による無視をされる」「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる」が増加した。

3 発行物について

- ・令和3年度は、区内全教員に対して印刷物を配布した。
- ・令和4年度からは、校務支援システム（C4 t h）の書庫に格納し、学校の状況に応じて活用している。
- ・今後は、学習管理システム（eラーニング）の活用等も検討し、様々な研修体形で活用推進を図れるようにしていく。